

海鳴りやまず

余話

いま神戸新聞で「海鳴りやまず・神戸経済人の一世紀」を連載中ですが、今日は神戸を築いた明治、大正期の経営者像にしぼって語っていただきたいと思えます。神戸経済はまさに「海」が主軸。港めがけて集まった人々が「海」を素材にドラマを展開します。まず藩閥を背景にした人、土着の商人、職を求めて各地から流れてきた人、近代経営を持ち込んだ人が土台をつくり、その後、高商出の人材とといったふうさまさま。世界に通じた港ゆえに、いろんな人材が輩出したといえますね。神戸経済がどのように成長していったか、というあたりから…。

(来住邦男、有井基記者)

神戸経済人の一世紀

明治・大正の経営者像

落合 神戸の発展をみると、兵庫の資産家が明治の近代産業を生んだということを見逃せませんね。山陽鉄道にしろ市街地整備に

座談会出席者

神戸史学会代表
落合 重信氏
神戸大学経済学部長
新野 幸次郎氏
神戸史談会代表
柳田 義一氏

写真右から



みれば、その通りだと思えます。

新野 ただ神戸の場合は、全国の港の中で一番立派な港をもっていった。そしてアメリカより、ヨーロッパ、アジア貿易が中心で、神戸港がそのにない手になっていった。ですから全国的な比重も重かったんです。そうした港のあり方、世界貿易における連絡の仕方を見れば、神戸の発展を語れないと思

います。また港に関連して、全国の代表的な企業がはりついた。川崎、三

貿易拠点に人材結集

——新興都市のエネルギー——

ささええた兵庫の資産家

菱の造船所にしても鈴木商店にしても。貿易と重工業—造船、鉄鋼ですけれども、それが明治の中心から大正にかけて、日本の経済がいちばん伸びていく時期に神戸がにぎっていたわけ

しかも人材が集まってきた。神戸高商など当時一番優秀な学校を出た人たちが事業を盛り上げた。それも神戸にウエートを持たせた一因です。そして、地元をそれを支える力があつた。これは大きいですね。新興都市というか、そういうエネルギーを結集してきたという感じがするんです。

横浜と比べて、どういう位置づけになるのでしょうか。新野 それは当時、日本の文化

般に忘れられていますが、もう一ぺん兵庫の役割を見直す必要がありますよ。

開港当時、兵庫は二万人、神戸は五千人です。神戸は海岸ぞいに回船問屋、酒屋などが並んでいたが、それらが事業の主体になったということはないですものねえ。

新野 兵庫の資産家では小曾根喜一郎の役割は大きいようですね。自分で企業を興したという派手な面はないけれども、あらゆるところの株を持つている。つまり、あらゆる方面で出資しているんです。

落合 大阪、京都の商人の出資も山陽鉄道なんかで見られるんですが、いつからか手を引いてしま

大阪の商社などが神戸に支店を出して、いわば神戸を情報収集の拠点にしてみましたね。それが引き揚げていくのはいつごろでしょう。

新野 昭和三十年代に入ってもないころ撤退を始めています。その後三十四年ごろ大阪経済の地盤沈下が叫ばれている。神戸でも経済振興対策調査会をつくって対策を講じたのもそのころですね。遠因を探れば、満州事変以後十

の導入は大体、ヨーロッパからですね。ヨーロッパからの窓口は神戸ですから、いろんな条件が蓄積されていた。それから横浜は東京をひかえていた。ですから窓口に過ぎないんです。ところが神戸は今みたいに大阪の窓口でなく神戸が一つの拠点だったんですね。

落合 マッチ工業にしても東京で機械作業が起りながら関西で発展するというのは、やはり向こうがアメリカ貿易をめざしているのに対して、こちらは大陸貿易が主力だったからですね。明治の末期に紡績工業が興るのも神戸が永年、雑貨貿易の港であるということが大きかったと思えます。

新野 そうした地理的な条件もあつた上に、神戸にはエネルギーがありまし

落合 労働力という点では、港が開けたということから農村地帯の二男、三男が押しかけた。労働力は十分あつたと思えます。

新野 先ほどのマッチも、港へ全国から労働者が集まった。港湾労働は不規則ですから収入を確保するため家族が働く。マッチ工業はその家内労働力を吸収していく重要な役割を持っています。ケミ

年代に入って統制経済となり、中央管理体制がとられたことと無縁でない。情報をもらうためには東京へ。それも下つぱではダメだから代表を東京に置く。順次企業の管理機能が東京へ移っていく。つまり情報の集まりが減ったということが神戸経済の致命傷になったわけですね。

情報果たす役割は大きい。その点鈴木商店ほどの商社よりもぬきん出て世界の情報を集めたことが成功していますね。

柳田 欧州大戦のころはとくにそうです。新聞記者が本社に来て、テレックスで送ってくる小麦とか鉄など相場の動きをそのまま経済記事にしてみましたよ。

新野 戦前の日本の経済の発展は、やはり戦争によって一つのきっかけを画することができると思

落合 日本全体の経済動向から

カルシユーズの場合を考えても、マッチ工場が日華事変前後に姫路の白浜へ移っていった。その跡でゴム工業が起きたんですから、連続性がありますよ。

落合 さきに話が出た学校出の人がいろんな企業に入っていた。これが経営の体質を変えていますね。神戸高商とは別に県商があつた。明治開港期の近代経営の芽がそこから出ています。

新野 一橋大が前身の簿記講習所から数えて今年で百年になるそうですが、県商も同じころに出来たんでしょう。

柳田 私も県商出身で、来百年になります。福沢諭吉が商業教育の必要性を説いたことに刺激されて開校の相談に行つたそうです。私たちのころは商家を校区にもつ神戸小学校の子はみんな県商、諏訪山小学校を出た子は一中、二中へと進路が決まっていました。

—そういう経営感覚という点で人物をあげるとすれば…。

柳田 鐘紡の武藤山治あたり評判がよかつたですなあ。職工の待遇もよかつたし…。

落合 厚生施設や従業員の待遇労働条件でいろいろやっています

ねえ。しかし僕も鐘紡争議に行きました。そうホメてばかりもいられませんね。やっぱり労働者の立場からすれば。

紡績も「女工哀史」的な条件をかかえていたが、マッチも労働環境はひどかったですよ。兵庫駅裏のせまい路地をはさんで民家が密集して、そこで働くんですからね。僕が大正三年に神戸へ来たとき、ちょうど江戸の下町みたいなので、テレビで時代ものを写っていて江戸の下町が写ると、その

金子武蔵氏日本学士院の 新会員に選任さる

日本学士院(和達清夫院長)は去る十一月十二日、東京上野学士院で總會を開き十人の新会員を選んだ。学士院は学術研究会で優れた業績を挙げた学者達を優遇する学界的榮譽機関で、会員には終身年金百七十五万円が贈られる。金子武蔵氏(東大名譽教授)日本倫理学会会長、西歐哲学思想の研究を重ねヒューマンイズムなど各方面の精神史的問題に関して独自の倫理学体系を樹立した。特にヘーゲルの研究で著名である。本会よりは御慶びの電報を發しました。

ころがほうふつと浮かぶんです。それにしても、あのふた間ぐらいの狭い長屋へ、郷里から次々と職を求めてやってきて、居候が多くて……

柳田 みんな郷里の人をたよっ

情報背景に指導力 企業に市民の親しみ

て出てくる。金子直吉も郷里の土佐からたくさん人を連れてきたので鈴木商店は土佐出身が多かったですよ。

新野 どこから、どんな手づるでやってきて、定着して神戸っ子に変わっていったか。それがわかれば面白いアプローチだと思わんですがねえ。

落合 ルートがわかれば人間の動きがわかる、そう思っ、かつて新川の居住者を対象に調べようとしたことがあったんですが、なかなかつかめないうちに居住者の移動が激しくてだめでした。

新野 対象は違いますが、昭和三十六年ごろ神戸の下請け調査をしたことがあります。鉄鋼・造船関係の下請けで機械金属にたずさ

わっている人は、大正の初めごろ川崎、神鋼の従業員だったのが独立したというケースが非常に多いんですね。地元産業を見ていくときには、この点も大事なポイントだと思えます。

落合 川崎なんかを定年でやめるんでなく、かなりの腕きまで、

親類から金を借りたりして鉄工所を開くケースですね。尻池(長田区)あたりの鉄工所には、それが多いようです。長田に中小企業が進出するのは運河が開通して(明治三十二年)以後、まず精糖、製粉など比較的大きな工場が運河べりにできた。その後、マッチ工場や、かじ屋的な機械工場ができるのは大正になってからでしょう。

新野 初期は会員になることが名譽だという時期があったでしょうね。

落合 動きとしては市会の方が具体的で、商工会議所は建議し

たり提案に賛成したりという程度

的印象ですが。
新野 ただ商工会議所の会頭となると松方幸次郎、中上川彦次郎、村野山人、山本亀太郎、田村新吉、滝川儀作、榎並充造など全国的に有名でしたから発言権も大きかったんですね。港と産業をバックにしての発言だったからウエイトを持っていた。そこへ情報が集まる。たとえばマッチの滝川にしても全国の中心的役割を

していましたからね。さらに他産業の情報も得られた。会議所は法律にもとづく機関ですから、やはり一定の役割は果たしてきたと思います。

柳田 松方と金子が船鉄交換をしたとき会頭の田村さんが反対した、と聞いて金子が怒っていましたよ。

落合 そうすると、やはり会議所はそれなりの権限と役割を持っていたんですね。

新野 そうした人物から、地元で育って伸びた人、他の地方から来て伸びた人、あるいは人材を養成して力をたくわえ規模を拡大した人、自分でわが城を守った人……といったタイプに分類して、いま

残ってリーダーシップをとっているのはどのタイプか。そういう分析も面白いでしょうね。

神戸経済界に与えた人物像を語ってもらえませんか。明治初期は川崎正蔵、松方と続く川崎の系譜。地場の素封家が興した企業群。それに中上川彦次郎、武藤山治ら近代経営を持ち込んだ人々……というふうにも分類できると思います。まず強烈な個性を發揮した金子直吉について、鈴木

の焼き打ちにみられるようにらつ腕のイメージを市民がもっていたかどうか。

落合 川崎、三菱といった市民に直接かわりのある企業ほど鈴木に関心を持たなかったですね。

川崎などは下請け企業、それに新開地、荒田といった商店街は企業になんらかの関連がある。つまりよそごとでないから親しみが深い。それに比べて鈴木は米とのつき合

いだけ。金子や鈴木がにくいからでなく、生活苦へのウツペンが米騒動に現れたと思いますよ。

柳田 鈴木がつぶれた時の反応は意外に薄かった。川崎、三菱が倒れたらそれこそ大変だったでしょう。松方さんの馬車なんか市民

はみんな知っていましたね。鈴木と市民のかかわり合いといえば、料理屋じゃないですか。花隈をさかんに利用していましたから。

新野 企業が残ったところは顕彰され、偉人伝がいまに伝わる。つぶれた企業は跡かたもない。また学校や社会事業を手がけた人は名前が永遠に残るわけですが、従って経済人はその名だけで評価はできません。大事なのはピークの

(神戸新聞・昭和52年10月16日)

帝人株式会社特約店

富士商事株式会社

取締役社長 石本 喜久次
専務取締役 石本 幸久

大阪市北区絹笠町大江ビル
電話 大阪06-364-0177(代)



日塩株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目6-2
電話 東京 03 (281) 3101 (代)

- 支店 東京 横浜 名古屋 神戸
- 倉庫 東京 横浜 名古屋 神戸 四日市
- 出張所 札幌 仙台 四日市
- 営業所 横浜本牧埠頭

ケミカルタンカー

國華産業株式会社

取締役社長 大久保延造

本社 大阪市北区堂島浜通1丁目63番地
TEL (06) 344-5626 (代)
東京事務所 東京都港区芝西久保桜川町28番地
TEL (03) 504-2606

人はお豆腐が喰べ度い等と笑声が溢れて和やかな情景、私の我流の家庭料理でもてなし時間の許す限り観を尽くした。

当時の宅の住いは富岡町三丁目目小樽港を一望に見おろし、うしろは小樽高商が控えてその夜景美は素晴らしく、マルセーユに次ぐという位であった。又秋には珍らしいナナカマドの赤い実が風情を添え、何とも云えぬ落着きを見た。この借家は人様の御世話で借りたが或る日、近所の奥様から家相がよくないと注意されたが余り気にもしていなかったところ、寒い冬を引越したが翌春病気に罹り里の母に来て貰いこの事を話すと心配して方位観の天眠先生を迎えた。御持参の礎石で調べられた末、便所の上の方が丁度鬼門に当たっていると云われて早速浄めて造り替えたが九年の間病人も出ず何ごともなかった。主人は御承知の通り一年に十回位東京、神戸へ出張勝ち多忙の身であったが、十年目の秋表通りに転宅した。その翌年の三月やつと東京へ帰えることが出来た。この天眠先生早稲田大学文科出身、骨相学に通じておられるので何時も何かと相談を持ちかけたものです。

或る時星占いをして貰ったが近く

盗難の懼れありと、その月に主人の父と妹が北海道見物に訪れた。日曜日に札幌へ案内し夜おそく帰宅した。夜中の寝静った頃、ふと私が目を覚ますと庭の雨戸を切る音があるので皆を起して電気をつけて見廻ったが私の方は何の被害もなかったのです。この事を早速家主さんに話すと、今朝明け方に横下の家の高田さんの洋窓から泥棒が這入り時計とお金を盗られたと云うことを聞き不気味な感じがした。別の話になりますが、ある日知人が東京から訪ねて来られた際こんな話をしたら、知人も一身上のことを是非天眠先生に見て貰い度いと云われるままに先生を呼んで来た。「あなたは東京より西の方で仕事をやる方が良い、人の下に使われる仁で無く中年一生の財をなす」と云われた。

後年この知人三十七歳から幸運続き、今尚京都で成功されているとか「明治三十五年生男」東京で戦時中住家を物色、渋谷へ移る前、家の間取り図を詳細に書き北海道へ聞き合

のけられた六日東京最後の空襲、

昭和二十年五月二十五日夜、わが家は戦火で焼けた、防空壕のものは無事だった。壕の土を主人が取りのけて第一番に私が這入った。主人も二人の娘もだまって見ていた。

小樽に居た時分八百屋のおばさんが泥棒なんか人につくもので家にくものでないと云うたことも理があるようにも思われる。その後私は家相の話になると天眠先生の受け売りを喋り口っている。今も住居は西北に物置きと清い水の湧く井戸が昔の姿でのこつている。今時方位等の話は今の若き方達からは消えてゆくかも知れないが、易学は昔から天地の心理、中国から伝った述べるところの易经は決しておろそかにはならないと思

われる。之は気付いた私の実話として御笑い草に書き記したまでです。(五二・一〇・一) ○記 松井 元氏 未亡人)

映画 一番星から

今村頼吉

昭和五十二年四月四日(月曜日) 年十二月十三日、享年七十一歳)にNHK連続TV小説「いちばん星」が始った。図らずも鈴木商店とはない、甦れあの千夜子の懐しが挫折してから丁度五十年目である。原作は結城亮一の「あゝ、東京行進曲」である。雪深い山形県天童から上京した佐藤千夜子(初め高瀬春奈が演じたが病氣となり六月十三日より五大路子が代役を務めた)が一躍日本最初の流行歌手第一号になった丁度昭和三年(日商設立は同年の二月八日)で野口雨情、中山晋平、西条八十らの努力によって新民謡、後の流行歌が誕生した。佐藤千夜子は最初のスターとしてデビューした。昭和初期に「波浮の港」「東京行進曲」赤い靴穿ていた女の唄「旅人の唄」「紅屋の娘」当世銀座節「影を慕いて」古賀政男作詩作曲「愛してちょうだいネ」などで一世を風靡したことであった。この千夜子の人生は誠に波瀾にとみ失意のうち

に哀れ閉じたのだが(昭和四十三

厚く、鈴木商店のよき理解者であ


た。タタ鉄鉄の販売権は鈴木商店以外には絶対与えない。もしも不幸にして鈴木の後継会社ができなかったら多賀個人に与えようとなつてくれた。昭和二年末に日商の設立が知らされ多賀も参加することになって鉄鉄販売権は無事日商に引き継がれたのである。と。多賀氏の長い間の苦心惨澹たる尽力に因るものであったと思ふのである。

鉄鉄販売権を存続させようとする内地側の努力もまた大変なものであった。当時の鈴木商店鉄材部責任者は楓英吉氏であり高畑氏、永井氏とともに鈴木商店の後継会社の中心になる商売はタタ鉄鉄の輸入以外にはないと思つてた。従つてタタ鉄鉄の輸入の継続には全力をそそいだ。木村商事に住友銀行の信用状開設を交渉したのも楓氏である。一方横浜正金銀行神戸支店とも交渉して積出人は多賀二夫、荷受人は高畑誠一という個人名義の信用状を開設した。当時の日本の重工業は鉄鉄を大いに必要としており、官立八幡製鉄所の生産する鉄鉄では品質的にも量的にも到底賄いきれずタタ鉄鉄の輸入停止は日本産業に大きな影響を及ぼすことを楓氏は熱心に説き正金

神戸支店もよくそれを悟つたのだ

神戸新聞「海鳴り止まず」に就いて 待望されていた「海鳴り止まず」第一回の発行は意外の好評を博し諸兄の御手許にも多数お求め願つたことと存じます。更に愈々第二回の刊行準備に取りかかり、来る四月月上旬には上梓の予定であります。之には鈴木商店の今迄に知られなかつた重要な面が解説も巧みに網羅されておりますので引き続き御購読下さるよう御勧め致します。実はこの企画の最初から小生の手許に保管されている鈴木商店の資料全部に過去の体験談の思いつきを提供して参つたのですが、今回計らずも社から小生に多額の推薦を賜りましたので茲にそのまま辰巳会に寄贈させて頂くことに致しました。(柳田)

豊かな経験—すぐれた技術



帝人製機

大阪本社 大阪市東区北浜3-7-3 ☎06(202)0371
東京本社 東京都中央区銀座6-14-4 ☎03(543)4611

営業 品目 化粧機械 航空機部品 油圧機器 工作機械 産業省力機械

タタ鉄鉄の受渡業務を引続き日商でタタより直接購入して前述の得意先に納入することであった。又新会社日商の宣伝を目的として鈴木時代に日米船鉄交換契約で鍛え上げた楓部長初め今村、国沢が従来の関係を利用して播磨造船所(楓氏はハリマの幹部連全員と懇意であった)、今村、国沢は購買課長三徳辰治氏、貨物課長香川氏、課長代理高梨晋次氏や技師の長岡氏、秘書の池田政雄氏等と気安い間柄であった)へ造船材料の売込み交渉を開始した。又大阪鉄工所では社長が津村秀松法学博士、専務取締役は飯島幡司氏(後年経済学博士に)何れも元神戸高商教授、営業部長山田金式氏(楓氏の一年先輩凌霜七回生、購買課長は加藤忠丸氏(落合豊一氏と同期生)等の好意と声援に因り造船材料のうち汽笛用鋼板並に汽笛用鋼管及型鋼類(主として英国製又は独乙製でロイド規格品)を上記二造船所に売込み成功し以後スツト受託を継続して貰つた。特に大阪鉄工所の分は三井物産、三菱商事と競争して勝ち得たので其の都度日刊工業新聞に結果が発表され、新人日商の宣伝に大いに効果があったのである。播磨造船所からもいつもこの種の材料の注